

# アルファ・ウイン 企業調査レポート

## デジタルメディアプロフェッショナル

(3652 東証マザーズ) 発行日：2022/3/15

アルファ・ウイン 調査部

<http://www.awincap.com/>

### ● 決算速報

#### ◆ グラフィックス技術に特化した研究開発型ファブレス半導体ベンダー

- デジタルメディアプロフェッショナル（以下、同社）は、同社が独自に開発したグラフィックス技術をライセンス供与、またはこれを組み込んだ製品の生産を外部委託し販売する研究開発型ファブレス半導体ベンダーである。近年では人工知能（AI）関連のソフトウェア製品のラインナップの拡充、受託開発にも注力している。
- 2021年5月に数値目標を伴った中期経営計画を公表した。2024/3期の目標として、売上高2,500百万円（2021/3期比2.5倍）、営業利益200百万円（2021/3期は425百万円の損失）を掲げている。

#### ◆ 2022年3月期第3四半期累計業績

- 同社の2022/3期第3四半期累計（以下、Q3）業績は、売上高1,279百万円（前年同期比53.4%増）、営業損失91百万円（前年同期損失額294百万円）、経常損失90百万円（同242百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失91百万円（同244百万円）であった。
- 事業別売上高では、IPコアライセンス事業は132百万円（前年同期比30.7%増）。デジタルスチルカメラ等のデジタル機器向けの新規ライセンス収入、及びランニングロイヤリティ収入、安全運転支援分野及びロボティクス分野での新規ライセンス収入、前2021/3期より計上を開始したりカーリング収益も寄与した。
- 製品事業は955百万円（前年同期比59.2%増）。パチンコ・パチスロ向け画像処理プロセッサ「RS1」の大幅増収、ドローン向けカメラモジュール、Cambrian社ビジョンシステム等も売上計上した。
- プロフェッショナルサービス事業は191百万円（前年同期比44.7%増）。国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）向け受託収入は剥落したものの、安全運転支援分野及びロボティクス分野向けのAI受託開発で大幅増収となった。
- 売上総利益は443百万円（前年同期比66.6%増）と増収率を上回る増加であった。販売費及び一般管理費（以下、販管費）は、研究開発費が135百万円（同37.5%減）と減少したこともあり前年同期比4.5%減の535百万円となった。売上総利益の拡大、販管費の減少により営業損失額は91百万円と前年同期の294百万円の損失から縮小、202百万円の改善となった。
- 経常損失の改善額は152百万円と営業損失の改善額より縮小した。NEDO向け助成金収入（53百万円）が無くなったこと等から、営業外収支が51百万円のプラスから1百万円のプラスへと減少したためである。
- Q3決算開示と同時に、2022年4月以降に出荷予定のRS1の大型受注1,308百万円獲得を公表した。2021年5月に開示した中期経営計画において2023/3期のRS1売上高は1,500百万円としているが、既に9割弱を達成したこととなる。

#### ◆ 自己資本比率は高い水準を維持

- Q3業績で親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したが、Q3末の手元流動性（現金及び預金と有価証券の合計額）は2,315百万円と総資産の63.7%を占め、自己資本比率も87.0%（2021/3期末93.5%）と依然高い水準を維持している。

ショートレポート

1/4

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

### ◆ 協働ロボット事業の展開

- ・同社がターゲットとしているロボティクス分野の主たる市場は、ロボティックビークルと協働ロボットである。そのなか、協働ロボットにおいて新たな、しかも注目すべき展開があった。具体的には、協働ロボットのレンタル、販売及び導入支援サービスを展開している高島ロボットマーケティング（東京都千代田区）と「郵便物自動仕分けシステム」を共同開発したことである。2022/3 期中の売上計上が見込まれているが、横展開すべき種々の顧客を対象とした用途開発も進めている。
- ・なお、日本国内では工作機械に代表される有力なロボットメーカーが多数存在しているが、その主力製品は眼を持たない FA（生産工程の自動化を図るシステムの総称）ファーストのロボットである。工作機械用 NC（数値制御）装置世界首位のファナック（6954 東証一部）は、産業用ロボットや小型マシンングセンタを手掛けた協働ロボット市場にも進出している。ファナックにおける協働ロボットの生産能力は現時点でロボット全体の 1 割程度と思われるが、来年度末までに生産能力を 3 倍に増やすとの報道もある。同社によれば、協働ロボットの世界出荷台数は 2020 年から 2024 年にかけて年率 21% で成長する見通しであり、ファナックの動きは同市場の拡大を裏付けるものであろう。

### ◆ 2022 年 3 月期業績予想

- ・同社は、2022/3 期業績予想を据え置いた。即ち、売上高 1,650 百万円（前期比 63.4% 増）、営業損失 200 百万円（前期は 425 百万円の損失）、経常損失 200 百万円（同 361 百万円の損失）、親会社株主に帰属する当期純損失 202 百万円（同 364 百万円の損失）である。事業別売上高予想は開示していない。配当予想は期初より無配継続としている。
- ・2022/3 期 10～12 月期の 3 カ月間業績が、売上高 589 百万円（前年同期比 95.8% 増）、営業利益 18 百万円（前年同期損失額 102 百万円）と営業利益が黒字転換したこともあり、2022/3 期業績予想について同社は上振れの可能性を認識している模様である。

### ◆ アルファ・ウイン調査部の業績予想

- ・アルファ・ウイン調査部（以下、当調査部）の 2022/3 期業績予想も、同社予想並みの前回予想を踏襲する。事業別売上高予想も前回予想を踏襲する。すなわち、IP コアライセンス事業は 175 百万円（前期比 21.5% 増）、製品事業は 1,210 百万円（同 83.9% 増）、プロフェッショナルサービス事業は 265 百万円（同 28.6% 増）である。
- ・当調査部の 2022/3 期事業別売上高予想に対する Q3 の進捗率は、IP コアライセンス事業 75.4%、製品事業 78.9%、プロフェッショナルサービス事業 72.1% である。2021/3 期実績に対する 2021/3 期 Q3 の進捗率は同様に 70.1%、91.2%、64.1% であることから、2022/3 期 Q3 のプロフェッショナルサービス事業の進捗率 72.1% は順調な推移と思われる。
- ・当調査部の 2023/3 期以降の業績予想も前回予想を継続するが、足元におけるプロフェッショナルサービス事業の先行き見通しを勘案すると、増額検討余地は大きいと考えている。

### ◆ 株価について

- ・同社の株価は、2021 年 4 月 9 日の 2021/3 期業績予想下方修正を受けて調整が始まり、8 月 10 日には 1,685 円の安値をつけた。8 月 11 日の第 1 四半期決算公表後は株価が持ち直し、9 月 13 日には高値 2,219 円までリバウンドの動きを見せたものの、その後再び下値模索の様相を呈している。
- ・世界的な金融緩和が転機を迎えている現下、金利上昇や経済回復の鈍化懸念から、マザーズ指数は下押しの局面にある。2021 年末の TOPIX は 1,992.33 と、2020 年末比 10.4% の上昇であった一方、マザーズ指数は同様に 987.14 と 17.1% の下落であった。足元で見ると 2 月 18 日のマザーズ指数は 708.81 と昨年来安値を更新している。したがって、同社が上場しているマザーズ市場が軟化していることも、同社の株価推移に影響しているものと思われる。

【 3652 デジタルメディアプロフェッショナル 業種：情報・通信業 】

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2020/3	1,328	22.2	82	185.6	85	155.4	65	86.0	21.21	1,131.88	0.0
2021/3	1,009	-24.0	-425	-	-361	-	-364	-	-116.03	1,032.07	0.0
2022/3 CE	1,650	63.4	-200	-	-200	-	-202	-	-64.16	-	0.0
2022/3 E	1,650	63.4	-200	-	-200	-	-202	-	-64.16	968.15	0.0
2022/3 E	2,000	21.2	10	-	10	-	8	-	2.54	970.69	0.0
2023/3 E	2,400	20.0	180	18.0×	180	18.0×	100	12.5×	31.76	1,002.46	0.0
2021/3 Q1	229	275.0	-114	-	-93	-	-93	-	-29.95	-	-
2021/3 Q2	533	81.8	-191	-	-155	-	-156	-	-49.84	-	0.0
2021/3 Q3	834	26.1	-294	-	-242	-	-244	-	-77.75	-	-
2022/3 Q1	250	9.2	-95	-	-95	-	-96	-	-30.60	-	-
2022/3 Q2	690	29.5	-109	-	-109	-	-110	-	-34.95	-	0.0
2022/3 Q3	1,279	53.4	-91	-	-90	-	-91	-	-29.12	-	-

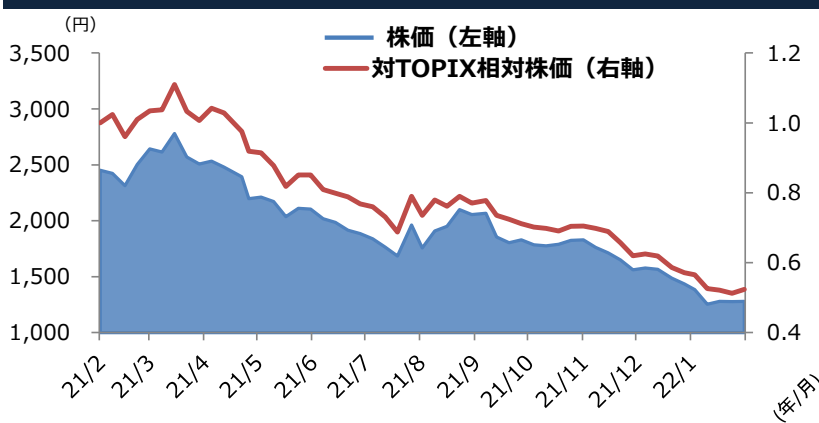
(注) CE：会社予想、E：アルファ・ウイン調査部予想、Q2及びQ3は累計会計期間  
2021/3期より連結決算で2021/3期、及び2021/3期Q1から2021/3期Q3迄の前期比及び前年同期比は単体比較

【 株価・バリュエーション指標：3652 デジタルメディアプロフェッショナル 】 図表 B

項目	2022/2/18	項目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向
株価 (円)	1,280	前期実績	-	1.2	-	-
発行済株式数 (千株)	3,152	今期予想	-	1.3	-	-
時価総額 (百万円)	4,035	来期予想	503.8	1.3	-	-
潜在株式数 (千株)	0	前期末自己資本比率		93.5%	前期ROE	-22.4%

(注) 予想はアルファ・ウイン調査部予想

【 株価チャート (週末値) 3652 デジタルメディアプロフェッショナル 】 図表 C



【パフォーマンス】		
期間	リターン	対TOPIX
1か月	-0.4%	-1.9%
3か月	-26.1%	-25.8%
6か月	-33.4%	-31.5%
12か月	-47.2%	-50.4%

(注) 月末値が基本、直近1か月は1/31と2/18との比較

(注) 2021年2月第3週～2022年2月第3週

ショートレポート

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

## ディスクレマー

アルファ・ウイン企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

**本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならない、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。**

本レポートの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づきアナリストの取材等を経て分析し、客観性・中立性を重視した上で作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

**本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。（更新された）最新のレポートは、弊社のホームページ（<http://www.awincap.com/>）にてご覧ください。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。**

本レポートの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【[info@awincap.jp](mailto:info@awincap.jp)】にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社及び本レポート作成者は返信等の連絡をする義務は負いません。